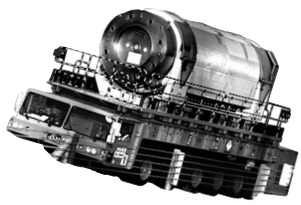
高レベル放射性廃棄物問題映画上映会

100,000年危険な核のゴミ　捨て場は何処に

青森県・六ヶ所村で“核のゴミ”問題を見つめ続けた
島田恵監督が、未来に向けて紡いだ報告書



監督・撮影　**島田 恵**

制作・配給：六ヶ所みらい映画プロジェクト

チャルカ

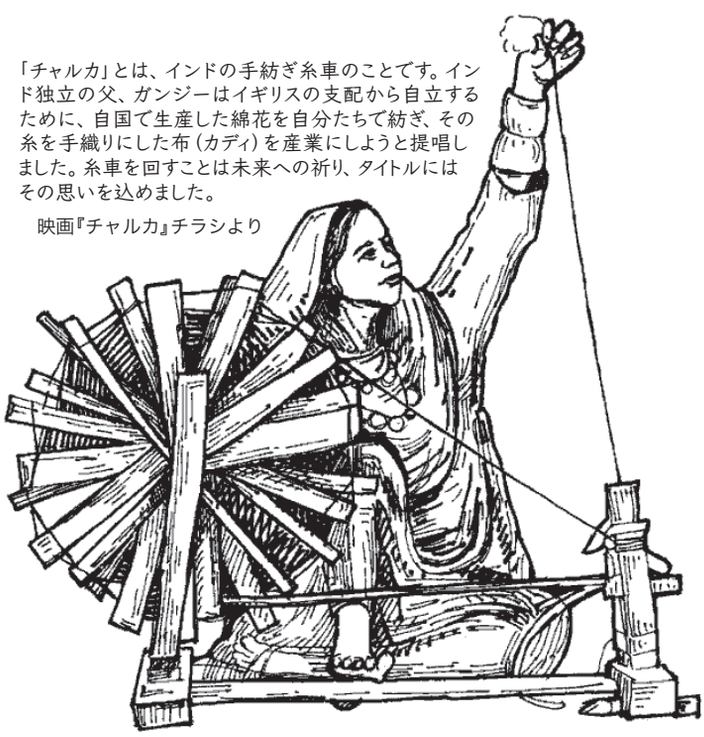
～未来を紡ぐ糸車～

7月28日、政府は、原発から出る高レベル放射性廃棄物（核のゴミ）の最終処分場を選定するための「科学的特性マップ」（適地マップ）を公表しました。それにより国土の約65％（！）もの面積が適地とされ、全国の市区町村の８割を超す約1500自治体が、それに当たるとされました。適地マップ公表を機に財政力の弱い自治体などに、誘い水のように「文献調査」「概要調査」などの調査協力費として多額の「交付金」を渡し、懐柔していこうとしています。今後、各地で誘致の動きが誘発されることが予想されますが、そもそも日本に高レベル放射性廃棄物の「適地があるのか？」「安全に何十万年も管理できるのか？」など様々な疑問がでてきます。
高レベル放射性廃棄物問題を追ったドキュメント映画「チャルカ」（島田恵監督作品）を通して、この問題を一緒に考えましょう。

※上映後、原子力資料情報室・伴英幸さんより、高レベル放射性廃棄物問題についてのお話があります。

「チャルカ」とは、インドの手紡ぎ糸車のことです。インド独立の父、ガンジーはイギリスの支配から自立するために、自国で生産した綿花を自分たちで紡ぎ、その糸を手織りにした布（カディ）を産業にしようと提唱しました。糸車を回すことは未来への祈り、タイトルにはその思いを込めました。

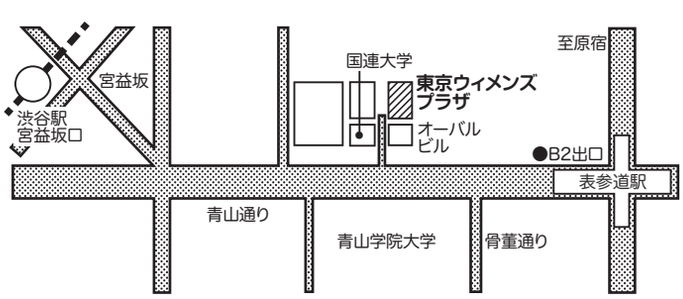
映画『チャルカ』チラシより



11月1日㊌ 18:30 開演

会場：東京ウィメンズプラザ視聴覚室

JR・井の頭線・東横線・副都心線 渋谷駅宮益坂口から徒歩12分
東京メトロ銀座線・半蔵門線・千代田線 表参道駅B2出口から徒歩7分



お話：伴 英幸さん（原子力資料情報室共同代表）

入場料：800円

主催：さようなら原発1000万人アクション実行委員会

東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 連合会館１階　原水禁気付　電話：03-5289-8224　FAX：03-5289-8223
Email:sayonara.nukes@gmail.com　http://sayonara-nukes.org/（「さようなら原発」で検索）